

続・学びの実感

きまりを見つけよう

◇高学年部の最後を飾る土生先生の授業でした。教師のイメージするゴールは用意はしながらも、子供たちから出た考え方を使って授業を進めようという授業です。さすが土生先生です。メリハリのある、子供たちも担任も参観者も楽しみ、熱中して取り組んだ授業でした。



◆事前検討会から

- ◇T1で取り組む授業です。2時間扱いの1時間目に取り組みますが、教科書の問題だとすぐに解いてしまうと思われる。児童の実態を考えると、気付きから学びへとつながるこの教材がふさわしいと思い、今回の授業で取り組んでみることにしました。
- ◇パワーポイントや具体物を用意し、視覚に訴えるようにしたいです。
- ◇いろいろな見方、考え方に気づく授業にしたいです。もし答えが出なかったら担任が教えます。
- ◇自分の考えを絵や図や表で表現し、言葉で説明できるようにさせたいです。自分が気がついたことを言語化することが学習につながるのではないかと思います。
- ◇ペア学習はしない方向で進めようと思っていましたが、自分の考えをグループで交流する程度はできるかも…。
- ◇授業の流れ（子供たちの考え）で進み方が変わると思います。全員が分かるとは思えないが10名程度分かればよしとします。全員が100段まで行かなくても5～7段程度までは全員に行かせたいものです。
- ◇5～7段までやったら、「じゃあ10段なら…」「20段なら…」と問えば法則性を探そうとする児童が増えるかも…。



◆事後検討会から…

《自評》

◎土生先生…

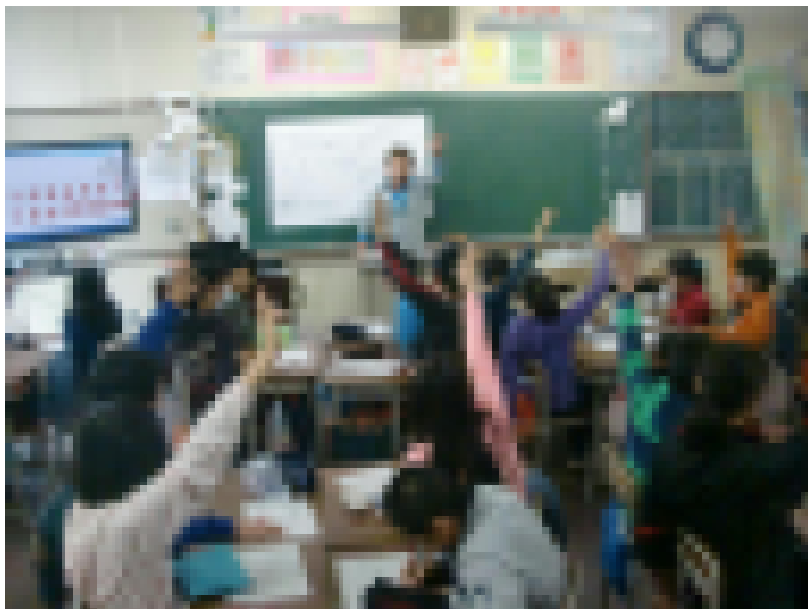
- ・ICTを活用し子供たちの視覚に訴えるようにしてみました。思考の助けに十分になったと思います。
- ・1時間で終わらなかったもので、次の時間のはじめの15分で深めました。台形の考え方が一番納得したようです。
- ・いろいろな考え方があるんだということを分かってもらえたし、いろいろな考え方をしているんだということも分かったと思います。
- ・認め合いは出来ていた。赤ペンで丁寧に友だちの考えを写していたことが時

間がかかった原因だと思われる。話し合いを入れなくても良かったかもしれない。

- 「学習における気付き」があって、子供たちは満足していたと思う。
- ICTの活用のバランスを気を付けたい。
- 考えるきっかけになる授業，考える視点を見つけられる授業にしたいですね。

《参観者から》

- 今日取り組むべき内容が良く分かった導入であった。効果的にプレゼンを活用していたと思う。
- ICT活用は難しいですね。文章題の時に使うのとは違うが、今日はとても良かった。
- 児童の食いつきが良かった。とても真剣に、一生懸命に取り組んでいた。
- グループの話し合いが長くなって、100段の考える時間が短くなったのがもったいなかった。60分授業や2時間連続の授業という考えでも良かったかも…。
- 児童によっては、「ちょっと難しい問題」だったり「かなり難しい問題」だったりしたが、みんながとても頑張っていて取り組んでいた。



- 縦，横，斜めから表を見て，様々な気付きがあった。その気付きが100段を求めようという気持ちにつながった。
- 子供たちの興味関心を高める良い授業だったと思います。年間で数回このような取り組みが出来ると子供たちの算数に対する姿勢も変わってくるでしょうね。
- 年度末の「おもしろ問題」につながる授業でしたね。
- 「正解は一つではない」という争いを気が付いたのが良かった。
- 自分が気が付いた答えを式に表すことが難しいが，その難しさが良かった。
- 算数の得意な子だけが活躍する授業ではないですね。意外なこの活

躍があってよい授業でした。

- 知的好奇心を刺激すること。算数の楽しさを味わわせることが大切ですね。

◆課題のリレー

(有効…○ 課題…●)

○ICT機器を活用すると視覚的に課題をとらえやすくなる。

●グループでの考えの交流の時の「話を聞く・メモを取る」時の視点をはっきりとすること。

次回の研究授業は…3年1組 秋田学級

1月23日(金)「分けた大きさの表し方を考えよう」

出来るだけ話し合いや授業を参観しましょう。